



碧南ロータリークラブ週報

第2179回例会 平成15年6月11日(水) 曇り. 最高25℃. 最低19℃

- 会長 長田 昌昇 ● 幹事 平岩統一郎 ● SAA 亀山 裕一
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 碧南市源氏神明町90番地
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 加藤知彦・竹下 豊・竹内光博・新美惣英



- 斉 唱
ロータリーソング「我等の生業」
- 四つのテスト唱和
- 本日のメニュー
和風弁当 大正館
- 本日のお客様
卓話講師 中島美津夫様



本日のゲスト 中島美津夫氏

会 長 挨拶

本日はゴルフのルーツについてお話したいと思います。

ゴルフのルーツは一般的に1300年代のスコットランドということになっておりますが、実はそれよりはるか昔のギリシャ、ローマ時代にゴルフの原型といわれるパガニカというゲームがあったようです。トルコあたりで子供達が、木の根を丸く削った球をクラブらしき棒で打って目的地までいかに少ない打数で到着するかといった単純なゲームだったらしいのですが、当時トルコに駐留していたローマ軍の将軍、クラウディウス・アルピヌスという人がこの遊びをいたく気に入ってトルコを引き上げベルギー、ロンドン、ブリタニア、セントリュースと進駐してからもこのゲームに熱中していたそうです。その後、これを見ていた地元の人達がゴルフというゲームに昇華させていったのかどうかは分かりません。また、中国の元・フビライの時代に捶丸（ツイワン）と呼ばれる現在のゴルフに近い形のゲームがあったらしく、丸経というゴルフブックまであって、北京博物館に保存されているそうです。権(ケン)と呼ばれる木の根っこや節で作ったものを毬棒(キウボウ)とか杓棒(シャクボウ)とかいわれたクラブで100ヤード位のショートホールを3打で終了するようになっていたようです。これもフビライ将軍が西欧進駐の際にシルクロード経由でトルコから持ち帰ったのかもしれませんが。ルールも初打のみボールを安定させることができ、二打目からはあるがままの状態でもホールアウトするまで球に触れることができないとか、反則の章では、構えた時にボールが風で動いた場合、他人にアドバイスした場合、誤球や打順を間違えた場合、地面を足でならした場合は一打罰を加える、など今のルールの原点みたいなものが載っているそうです。さらに、この競技は長い時間を一緒に過ごすためお互いに礼節を重んじ、相手を思いやり、己の利になる振る舞いは慎み、疑わしき時は相手の場合は善意に解釈し、己の場合は不利を選択しろと書いてあるそうです。そもそもゴルフをプレーしていると時としてどうしても我慢のしがたい反則の誘惑に駆られることがあります。例えば空振り。これは本人にとってみ

ると自己嫌悪に陥ると同時に何とかして相手が素振りと認めてくれないかと望む、なかには平然と、「今のは素振り」なんて人もいます。スコアなんかいつもごまかしたくなる。しかし、不思議と人の誤申告を正さない人が多いようです。なぜかという、痛いほどその気持ちが分かるからなのです。自分もそうしたい誘惑にいつも駆られているからでしょう。こんな話があります。相手が長い時間ラフの中のボールを捜して、そろそろロストボールを認めなければならない5分が経ちそうになった時、そのパートナーが突然、「あっ、見つかった」と言ってボールを指差している。さらにそのボールはラフといえども良いライにあるではないか。あの野郎、そんな都合のいい所にあるはずがない、100%スペアのボールを置いたに違いない。しかし俺には言えない。なぜかって？俺があいつのボールを最初に見つけてそっとポケットに隠してしまったから。皆さん、ゴルフは麻薬を思わせる中毒症状が宿っていると思いませんか。一度このゲームを覚えると心身に絶えず渴望感が残り次のプレーが待ち遠しくなる。そのような常習性があります。プレーのできない状態が長く続くと禁断症状にさいなまれる。苦悩と快感、挫折と恍惚、まったく麻薬そのもののようです。最後に中国の諺をもじりましてゴルフのすすめとします。1時間だけ幸せになりたかったら酒を飲みなさい。3日だけ幸せになりたかったら結婚しなさい。8日だけ幸せになりたかったら豚を殺して食べなさい。もし永遠に幸せになりたかったらゴルフにおぼれなさい。

幹 事 報 告

第12回の理事会報告

岡本明弘さんの入会が承認可決されました。元気ッスへきなんに5万円協賛を承認可決。

創立45周年記念式典実行委員会を次年度理事会の中に組入れることを承認可決。

小久保慶久君、鈴木義一君、尾崎琢美君以上3名の退会届を受理いたしました。

〈出席奨励委員会〉

総会員数 77 名 (内出席免除者 15 名) 出席者59名	
出席対象者 51/62名	出席率 82.26%
欠席者18名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.39%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

長田昌昇君 卓話の講師を紹介します。

三嶋 正君 県信「あやめ会合同チャリティーゴルフ大会」には大変お世話になりありがとうございました。寄付金贈呈の記事が中日新聞に載りました。

竹中義男君 役員、理事、委員長、次年度の皆さん。事業報告書・計画書の原稿を有難うございました。お蔭様ですべての準備が整いました。

杉浦成人君 吉井才司先生にご迷惑をお掛けしました。

早退10件 合計18,000円

卓 話

「イラク戦争の後」 中島美津夫氏

皆さんにお会いするのは、12年前にあのサダムがクウェートに侵攻した時その様子をお話させていただいて以来2度目となります。今日、お話申し上げることは私が、サウジアラビア、クウェートに26年間住み、働き、生活しアラブ人の家族と親しく付き合い、それから得た彼等の考え方、物の見方、宗教観などから私が勝手に判断した事であると解釈してください。アラブ人と言っても本当に色々な人がいますが彼等に共通して言える事は、第1に全ての人達がアラビア語を母国語としていること(因みに世界中で一番多くの国が母国語としているのがアラビア語)、第2に9

9%の人達がアラーを信じるイスラム教即ち回教徒です。アラブの連中は何処の国であっても、アラブ語を話し、共通の宗教であるモスLEM即ちアラーの神の名の下にアラブは一つというアラブの大義が生まれるのです。イスラム教は、アラブの人達に対して単なる宗教ではなく、生活の基本的な手段、文化・法律でもあるわけです。それゆえ、アラーの下に地球上のイスラム教徒は一つという大義も生まれてくるのだと思います。世界中のイスラム教徒の数を合計しますともものすごい人数になるはずですが、そのものすごい数の人達がアラーに忠誠を誓ってアラーの下で生活しているわけで、今後新しいイラクの建国問題だけでなく対アメリカ、親米の国々に影響を与えないかと心配です。

アラブ人は、自分の目的を達成する為には平気で嘘をつきます。嘘は悪ではなく、その嘘が相手に害を与えたときだけ悪となると考えております。また、強い者を崇拜し、弱者への同情はありません。相手に多くのことを期待し、それが満たされないと相手に辛く当たります。敵は相手の弱った時期を待ち受け復讐心を表します。また、殺人に対する復讐は自分の義務と考えております。節度ある復讐が良いとされています。また、アラブ人は国という意識が薄く何々部族という意識のほうがはるかに大きいようです。また、何世紀にも渡る外国支配がアラブ人から自由と責任感を奪ってしまったのでしょうか、失敗を他人のせいにして責任を取ろうとはしません。「アラーと羊と俺」という格言があるそうで、アラーの神と羊と自分以外は誰も信用しないと言う事です。アラブの国々を見てみますと自由と民主主義の国はほとんど皆無であると思っています。サウジアラビアはイスラム教以外の宗教は絶対認めておりませんし、酒などももちろん飲めず、女性一人では外出できません。女性は車の運転もできませんし、7人以上集合することも出来ません。男女が同じ職場で働くことも出来ず、選挙も憲法もありません。イラクは、サダムに盾突かない限り、かなり自由な国です。宗教も酒も女性の職場進出も自由です。教育も熱心です。しかし、人口の60%を占めると言われているモスLEM、シーア派やクルド人に対する迫害の問題は常に話題になっておりました。今回のアメリカのいう新しいイラクの国づくりはサダムによって押し込められていたクルド人やモスLEM、シーア派の人達も積極的に国政に参加してアメリカ的な民主的で自由な国を作ろうというものです。湾岸戦争後私が耳にした話ですが、アラブ諸国の支配者の本音は「サダムさん、クルド人やシーア派の連中をあなたの力で押さえ込んでくれ。彼らを迫害しても俺たちは目を瞑って知らん顔しますよ。金が必要なら応援するよ。但し俺たちの国へ攻め込まないでくれよ」という事のように思えます。終わりのない戦いになりアメリカをして「こんな筈ではなかった」ということになるのではないかと心配しております。そして、アラブ人をして「サダムも悪い奴だったけれど、今と比べるとサダムのほうが良かった。」というようになるのではないのでしょうか。

イラク戦 終わってみれば墓碑銘と アメリカ帰れのデモ残るのみこんな歌が頭の片隅に残っています。

**次回例会案内／6月25日（水）定款第5条第1節の規定により休会
7月2日（水）新年度クラブフォーラム役員挨拶**